

令和 6 年度 第 1 回

八千代市立郷土博物館協議会

期日：令和 7 年 1 月 2 1 日（火） 午後 2 時～ 3 時

会場：八千代市立郷土博物館 学習室

会 議 次 第

開会

1 委嘱状交付式

2 教育長あいさつ

3 委員・事務局紹介

4 委員長・副委員長選出

5 委員長・副委員長あいさつ

6 議題

（1）令和 5 年度 八千代市立郷土博物館事業報告

資料 1

（2）令和 6 年度 八千代市立郷土博物館事業報告（中間）

資料 2

（3）令和 7 年度 八千代市立郷土博物館事業計画（案）（骨子）

資料 3

7 視察

令和 6 年度 特別展「くらしのうつりかわり展 ～衣食住と学～」

閉会

令和 5 年度 八千代市立郷土博物館事業報告

1 博物館事業の概要

令和 4 年度事業に引続き、「資料の収集・保管・保存」、「市内民俗行事・資料に係る調査・研究」を基礎として、『新川流域の自然と人々との関わりの変遷』をテーマとした常設展示を行うとともに、新型コロナウイルスが 5 類と変更された状況の中で、市民の方々への郷土理解を図るため、展示事業として企画展示(1 回)、特別展示を開催し、併せて「講演会」、「講座」、「体験教室」等の各種事業を開催しました。

2 資料

①収蔵資料

博物館の基本的業務である、市域を中心とした自然標本・考古遺物・古文書・絵図・民俗資料等の資料類を収集・保管・管理し、後世への継承を図りました。

年度末時点の収蔵数

民俗 6, 705 写真 1, 261 考古 849 歴史 117 地図 519 自然 2, 968
拓本 74 映像 8 古文書 34, 635 その他 4

②資料の修補

虫損や汚れ等により遺存状態が良好ではない資料の修補を行いました。

年度末時点現在の実施回数 38 回

③図書資料

寄贈された図書類を、調査・研究や企画展等への活用や市民の学習活動等のために公開しました。

年度末現在 322 冊(収蔵数 18, 141 冊)

3 調査・研究

八千代市内に継承されている民俗行事について、聞き取り・写真撮影などによる調査を継続して行いました。 実施回数 13 回

4 展示

①常設展示

新川流域を中心とした八千代の自然・歴史・文化・産業の理解を図るとともに、可能な限りの展示改善を図りました。

②企画展示

a) 第 1 回企画展

「発掘やちよ新情報～古代集落と中世城館～」

期間：7 月 15 日(土)～9 月 18 日(月・祝)

会期中利用者数 2, 436 名(開館日数 57 日)

③特別展

- a) 県巡回展「令和5年度出土遺物公開事業 流山新市街地地区の遺跡展
大地より出でし先人の足跡」

期間：10月14日（土）～12月3日（日）

会期中利用者数 2, 142名（開館日数 44日）

- b) 「くらしのうつりかわり展 ～資料から知る阿蘇・米本地域～」

期間：令和6年1月6日（土）～2月25日（日）

会期中利用者数 1, 866名（開館日数 44日）

④ロビー展示

- a) 季節展示

市内に伝わる年中行事を開催時期に紹介

- b) あの町この町コーナー

八千代市内各地域の、過去と現在の町並みの変遷を紹介

- c) 八千代の自然・文化財11選

市内に多く所在する自然や文化財などのうち、11か所を選びパネルで紹介

- d) ミニ展示

やち博コレクション

博物館で日常的に行っている調査・研究、資料の収集・補修活動を紹介

第1回 伝・八千代工業団地周辺遺跡

期 間：6月1日（木）～10月6日（金）

展示内容：八千代工業団地が造られる前の昭和30年代に、当該地周辺で採集された縄文時代の石器や古墳時代の土器などを展示した。

第2回 高津新田の誕生

期 間：11月29日（水）～2月12日（月・振）

展示内容：高津新田・大木茂夫家旧蔵文書から、幕府による新田開発直前の状況を記録した古文書と成立後の古文書を展示した。

- e) 紙芝居～八千代の昔話～

期 間：12月10日（日）～3月31日（日）

展示内容：文化伝承館で作成した紙芝居を展示した。

⑤同好会連携展示

- a) 竹細工作品展

期間：令和6年3月5日（火）～17日（日）

会期中利用者数 217名

- b) 篆刻作品展

期間：令和6年3月13日（水）～21日（木）

会期中利用者数 156名

- c) 土器づくり作品展

期間：10月8日（日）～11月4日（土）

会期中利用者数 1, 175名

5 学校連携

①小中学校対応

館内見学	11件	637名
出前授業	29件	2,327名

②博物館教育への協力

千葉英和高校サマースクール 7月25日から28日まで古文書整理の実習を行いました。
参加生徒 5名 指導教諭 1名 目録点数 59点

6 市民学習の支援

①企画展等関連事業

企画展趣旨や内容の理解を深めるため、講演会や展示解説会を開催しました。

a) 企画展関連

第1回企画展 展示解説会	3回	27名
--------------	----	-----

b) 特別展関連 展示解説会

2回	34名	
ワークショップ	1回	8名
講座	1回	28名

②やちよの民俗行事（ワラヘビづくり）

期日	11月23日（木・祝）	参加者数	24名
----	-------------	------	-----

③古文書講座

八千代市内に伝わる古文書にふれることを通して、八千代の歴史に親しむ機会を設ける目的で、館職員を講師とする講座を開講しています。5年度も引き続き入門編・初級編・中級編の3段階の講座を行いました。

入門編（全3回）：6月25日（日）・7月2日（日）・7月9日（日）	参加者計	118名
-----------------------------------	------	------

初級編（全4回）：9月17日（日）・10月15日（日）・11月19日（日）・12月17日（日）	参加者計	192名
---	------	------

中級編（全3回）：令和6年1月14日（日）・2月18日（日）・3月17日（日）	参加者計	133名
---	------	------

④やち博講座

館職員を中心とした講師により、郷土の歴史や文化について様々な角度からふれることで、八千代市に対する理解を深めていただくことを趣旨に開講しました。

8月6日（日）・8月27日（日）・11月26日（日）・令和6年2月25日（日）	4回合計	160名
---	------	------

⑤博物館上映会

「おしどり家計簿」などの映画により、昭和40年代前後の八千代の様子を紹介しました。

期日	令和6年1月21日（日）	参加者数	14名
----	--------------	------	-----

⑥観察会

a) 自然観察会

期日 令和6年1月28日(日) 参加者数 16名

b) 文化財散歩

第1回 5月21日(日) 参加者数 26名

第2回 令和6年3月10日(日) 参加者数 16名

⑦体験講座

a) 篆刻講座

6月10日(土)・11日(日) 参加者数 34名

b) 植物標本づくり講座

7月22日(土)・8月20日(日) 参加者数 34名(2日)

c) 竹細工講座

12月3日(日) 参加者数 16名

⑧子ども講座

a) 昔遊び体験

ゴールデンウィーク期間に、竹馬・竹とんぼ・けん玉等の昔遊び体験を開催しました。

4月29日(土・祝)～5月5日(金・祝) 参加者数 146名

b) 博物館シアター

夏休み期間中に、日本の昔話や紙芝居を上演しました。7月30日(日) 参加者数60名

c) 子ども体験教室

「竹細工づくり」「土器づくり」「昔の道具体験」を開催しました。

8月5日(土)・10月8日(日)・11月5日(日)・令和6年2月11日(日・祝)

参加者数 82名

d) 竹と遊ぼう

竹とんぼなどの竹製のおもちゃを、竹細工同好会の指導で作りました。

令和6年3月9日(土) 参加者数 24名

⑨地域における子どもたちの学習支援

八千代市内の学童保育所などとの連携 15件 525名

⑩同好会の育成

竹細工同好会、篆刻同好会(八篆会)、古文書同好会、土器づくり同好会等の活動支援を行いました。

⑪講師派遣

公民館事業、市民団体の事業等への講師派遣等の支援を行いました。

16件 290名

⑫学習室等の施設利用

学習室＝ 開館日数：305日 利用日数：205日(67.21%) 利用者：3,996名

図書資料室＝52名

7 地域協働

①大学との連携

東京成徳大学日本伝統文化学科、八千代市内に開校している秀明大学等との連携

a) 伝統装束体験 令和6年2月3日(土) 参加者数 19名

②関係機関との連携

公民館との連携事業＝5回 図書館との連携事業＝2回

8 広報

講座や企画展等をホームページ、広報やちよ、まなびネットやちよ等で情報発信を行いました。

9 決算額

歳入	内容	予算額 (円)	決算額 (円)	備考
行政財産使用料	職員駐車場代 5名分×12カ月	117,000	120,655	中央図書館の産 休交代職員が駐 車場を2ヶ月半 利用
法令外負担金	自動販売機の電 気代	25,000	0	自動販売機設置 なし
物品設備利用収 入	利用者の複写機 (コピー機) 利用代金	55,000	39,870	
有価物売払収入	図録等の販売代 金	80,000	69,160	
合計		277,000	229,685	

○郷土博物館運営事業

歳出	内容	予算額 (円)	決算額 (円)	備考
報酬	協議会委員報酬	22,000	21,500	
報償費	外部講師謝金	55,000	55,000	
旅費	企画展用 他市 町村資料の運搬	13,000	9,846	
需用費	企画展パネル代 等の消耗品や企 画展ポスターの 印刷製本費	232,000	231,639	
役務費	電話料金等の通 信運搬費や公用 車の保険料	361,000	278,708	

委託料	墨書土器複製作成業務委託	478, 000	477, 400	
使用料及び賃借料	コピー機のリース代や収蔵品管理システムのリース代等	1, 694, 000	1, 692, 939	
負担金補助金及び交付金	県博協会費負担金	10, 000	10, 000	
合計		2, 865, 000	2, 777, 032	

○郷土博物館維持管理事業

歳出	内容	予算額（円）	決算額（円）	備考
需用費	トイレットペーパー等の施設維持の消耗品や光熱水費、トップライト（排煙窓）修繕の修繕料等	9, 384, 000	8, 845, 012	
役務費	郷土博物館の共済再分担金等の保険料や廃棄物手数料	78, 000	69, 864	
委託料	電気工作物や空調機、環境調査、機械警備委等	2, 027, 000	2, 026, 934	
使用料及び賃借料	AED 賃借料や消火器賃借料	57, 000	56, 166	
工事請負費	高圧気中負荷用開閉器交換工事	1, 298, 000	1, 298, 000	
合計		12, 844, 000	12, 295, 976	

令和 6 年度 八千代市立郷土博物館事業報告（中間）

1 博物館事業の概要

令和 5 年度事業と同様、「資料の収集・保管・保存」、「市内民俗行事・資料に係る調査・研究」を基礎として、『新川流域の自然と人々との関わりの変遷』をテーマとした常設展示を行うとともに、新型コロナウイルス感染症への万全な対策を考慮しつつ、市民の方々への郷土理解を図るため、展示事業として企画展示、特別展示を開催し、併せて「講演会」、「講座」、「体験教室」等の各種事業を開催しています。

2 資料

①収蔵資料

博物館の基本的業務である、市域を中心とした自然標本・考古遺物・古文書・絵図・民俗資料等の資料類を収集・保管・管理し、後世への継承を図ります。

12 月末日現在の収蔵数

民俗 6, 752 写真 1, 263 考古 895 歴史 117 地図 519 自然 2, 968
拓本 75 映像 8 古文書 34, 793 その他 4

②資料の修補

当館には約 3 万 5 千点の古文書等が保管されているが、虫損や汚れ等により遺存状態が良好ではない資料の修補を行います。

12 月末日現在の実施回数 21 回

③図書資料

寄贈された図書類を、調査・研究や企画展等への活用や市民の学習活動等のために公開しています。

12 月末日現在 196 冊（収蔵数 18, 337 冊）

3 調査・研究

八千代市内に継承されている民俗行事について、聞き取り・写真撮影などによる調査を継続している。

実施回数 9 回（12 月 20 日現在）

4 展示

①常設展示

新川流域を中心とした八千代の自然・歴史・文化・産業の理解を図るとともに、可能な限り展示改善を図っています。

②企画展示

企画展

「水とともに～睦村の歴史～」

期間：7月13日(土)～9月23日(月・祝)

会期中利用者数 2, 472名(開館日数 63日)

③特別展示

a) 秋の収蔵品展「祈る心、祝う心」

期間：10月19日(土)～11月17日(日)

会期中利用者数 1, 165名(開館日数 26日)

b) 「くらしのうつりかわり展 ～衣食住と学～」

期間：12月14日(土)～2月24日(月・振)

④ロビー展示

a) 季節展示

市内に伝わる年中行事を開催時期に紹介

b) あの町この町コーナー

八千代市内各地域の、過去と現在の町並みの変遷を紹介

c) 八千代の自然・文化財11選

市内に多く所在する自然や文化財などのうち、11か所を選びパネルで紹介

d) ミニ展示

やち博コレクション

博物館で日常的に行っている調査・研究、資料の収集・補修活動を紹介

第1回：上知令の影響

期 間：5月17日(金)～9月23日(月・振)

展示内容：江戸時代の幕政である上知令が市域の桑橋村(藩領)や麦丸村(旗本知行地)に与えた影響について、村絵図や村明細帳などから読み解いた。

第2回：やちよを詠む

期 間：10月22日(火)～展示中

展示内容：明治時代以降市域で隆盛した俳諧をとりあげ、俳諧師たちの活動と現在まで残る石碑の資料を展示した。

⑤同好会連携展示

a) 竹細工作品展

期間：3月4日(火)～16日(日)

b) 篆刻作品展

期間：3月12日(水)～20日(木・祝)

c) 土器づくり作品展

期間：9月29日(日)～10月19日(土)

5 学校連携

・小中高・学校対応(12月末日現在)

館内見学	10件	670名
出前授業	18件	1,593名

6 市民学習の支援

① 企画展等関連事業

企画展趣旨や内容の理解を深めるため、講演会や展示解説会を開催しました。

a) 企画展関連

企画展 講演会 (第2回やち博講座)	43名
展示解説会 3回	29名

b) 特別展関連

② やちよの民俗行事 (ワラヘビづくり)

期日 11月23日 (土・祝)	参加者 23名
-----------------	---------

③ 古文書講座

八千代市内に伝わる古文書にふれることを通して、八千代の歴史に親しむ機会を設ける目的で、館職員を講師とする講座を開講しています。6年度は入門編・初級編・中級編の3段階の講座を行い、番外編として、村絵図を活用した講座を設けています。

入門編 (くずし字) (全3回) : 5月12日 (日)・26日 (日)・6月16日 (日)

参加者計 86名

初級編 (全2回) : 11月24日 (日)・12月22日 (日)

参加者計 73名

中級編 (全1回) : 1月13日 (月・祝)

番外編 (全1回) : 3月16日 (日)

④ やち博講座

館職員を中心とした講師により、郷土の歴史や文化について様々な角度からふれることで、八千代市に対する理解を深めていただくことを趣旨に開講

6月25日 (日)・8月25日 (日)・11月17日 (日) 3回合計 128名

2月16日 (日)

⑤ 博物館上映会

「おしどり家計簿」などの映画により、昭和40年代前後の八千代の様子を紹介

期日 : 1月19日 (日)

⑥観察会

好評な現地見学を開催

a) 自然観察会

期日 1月18日(土)

b) 文化財散歩

第1回 5月19日(日) 参加者数 23名

第2回 12月1日(日) 参加者数 23名

⑦体験講座

a) 篆刻講座

6月8日(土)・9日(日) 参加者数 42名(2日)

b) 植物標本づくり講座

7月20日(土)・8月18日(日) 参加者数 32名(2日)

c) 竹細工講座

12月8日(日) 参加者数 23名

⑧子ども講座

a) 昔遊び体験

ゴールデンウィーク期間に、竹馬・竹とんぼ・けん玉等の昔遊びを体験

5月3日(金・祝)～6日(月・振) 参加者数 86名

b) 博物館シアター

夏休み期間中に、日本の昔話や紙芝居を上演

7月28日(日) 参加者数 46名

c) 子ども体験教室

「竹細工」「土器づくり」「昔の道具体験」

8月3日(土)・9月29日(日)・10月20日(日)・2月9日(日)

参加者数 61名(12月末日現在)

d) 竹と遊ぼう

竹とんぼなどの竹製のおもちゃを、竹細工同好会の指導でつくる。

3月8日(土)

⑨地域における子どもたちの学習支援

八千代市内の学童保育所などとの連携 8件 449名(12月末日現在)

⑩同好会の育成

竹細工同好会、篆刻同好会(八篆会)、古文書同好会、土器づくり同好会等の活動支援

⑪講師派遣

公民館事業、市民団体の事業等への講師派遣等の支援

9件 281名(12月末日現在)

⑫学習室等の施設利用（12月末日現在）

学習室＝ 開館日数：230日 利用日数：153日（66.5%） 利用者：2,769名
図書資料室＝77名

7 地域協働

①大学との連携

東京成徳大学日本伝統文化学科，八千代市内に開校している秀明大学等との連携

a) 伝統装束体験 2月1日（土）

②関係機関との連携

公民館との連携事業＝3回 図書館との連携事業＝2回（12月末日現在）

8 広報

講座や企画展等をホームページ，広報やちよ，まなびネットやちよ等で情報発信

令和 7 年度 八千代市立郷土博物館事業計画（案）（骨子）

1 博物館事業の概要

令和 6 年度事業と同様、「資料の収集・保管・保存」、「市内民俗行事・資料に係る調査・研究」を基礎として、『新川流域の自然と人々との関わりの変遷』をテーマとした常設展示を行い、博物館利用者や市民の方々への郷土理解を図るため、展示事業として企画展示、特別展示を開催し、併せて「講演会」、「講座」、「体験教室」等の各種事業を開催します。

2 資料

①収蔵資料

博物館の基本的業務である、市域を中心とした自然標本・考古遺物・古文書・絵図・民俗資料等の資料類を収集・保管・管理し、後世への継承を図る。

②資料の修補

当館には約 3 万 5 千点の古文書等が保管されているが、虫損や汚れ等により遺存状態が良好ではない資料の修補を行う。

③図書資料

寄贈された図書類を、調査・研究や企画展等への活用や市民の学習活動等に公開する。

3 調査・研究

八千代市内に継承されている民俗行事について、聞き取り・写真撮影などによる調査を継続する。

4 展示

①常設展示

新川流域を中心とした八千代の自然・歴史・文化・産業の理解を図るために、可能な限りの展示改善を図る。

②企画展示

企画展

「病をのりこえて ～死とまじないとやちよのひとびと～」(仮題)

期間：7 月 19 日(土)～10 月 13 日(月・祝)

③特別展

「くらしのうつりかわり展」

期間：令和 7 年 12 月 13 日(土)～2 月 22 日(日)

④ロビー展示

a) 季節展示

市内に伝わる年中行事を開催時期に紹介

b) あの町この町コーナー

八千代市内各地域の、過去と現在の町並みの変遷を紹介

c) 八千代の自然・文化財 11 選

市内に多く所在する自然や文化財などのうち、11 か所を選びパネルで紹介

d) ミニ展示

やち博コレクション

博物館で日常的に行っている調査・研究、資料の収集活動などを紹介

⑤同好会連携展示

a) 竹細工作品展

期間：令和8年3月3日（火）～15日（日）（予定）

b) 篆刻作品展

期間：令和8年3月11日（水）～19日（木）（予定）

c) 土器作り作品展

期間：10月5日（日）～25日（土）（予定）

5 学校連携

①小中学校対応

6 市民学習の支援

①企画展等関連事業

企画展趣旨や内容の理解を深めるため、講演会や展示解説会を開催する。

a) 企画展関連

（未定）

b) 企画展関連ロビーイベント

②やちよの民俗行事（ワラヘビづくり）

期日 11月23日（日・祝）

③古文書講座

古文書にふれることを通して、歴史に親しむ機会を設ける目的で、館職員を講師とする講座を開講する。

④やち博講座

館職員を中心とした講師により、郷土の歴史や文化について様々な角度からふれることで、八千代市に対する理解を深めていただくことを趣旨に開講する。

⑤博物館上映会

「おしどり家計簿」などの映画により、昭和40年代前後の八千代の様子を紹介する。

期日：令和8年1月18日（日）

⑥観察会

好評な現地見学を開催する。（予定）

a) 自然観察会

詳細未定

b) 文化財散歩

5月18日（日）、他詳細未定

⑦体験講座

a) 篆刻講座

6月7日（土）・8日（日）

b) 植物標本づくり講座

7月19日（土）、8月17日（日）予備日7月20日（日）

c) 竹細工講座

12月7日（日）

⑧子ども講座

a) 昔遊び体験

ゴールデンウィーク期間に、竹馬・竹とんぼ・けん玉等の昔遊びを体験する。

5月3日（土・祝）～5月6日（火・振）

b) 博物館シアター

夏休み期間中に、日本の昔話や紙芝居を上演する。

7月27日（日）

c) 子ども体験教室

「竹細工」「土器づくり体験」「昔の道具体験」等

8月2日（土）・10月5日（日）・26日（日）・2月8日（日）

d) 竹と遊ぼう

竹とんぼなどの竹製のおもちゃを、竹細工同好会の指導でつくる。

3月7日（土）

⑨地域における子どもたちの学習支援

八千代市内の学童保育所などとの連携

⑩同好会の育成

竹細工同好会、篆刻同好会（八篆会）、古文書同好会、土器づくり同好会等の活動支援を行う。

⑪講師派遣

公民館事業、市民団体の事業等への講師派遣等の支援を行う。

⑫学習室等の施設利用

7 地域協働

①大学との連携

a) 八千代市内に開校している秀明大学等との連携を模索する。

b) 博物館実習

7月29日（火）～8月8日（金）

②関係機関との連携

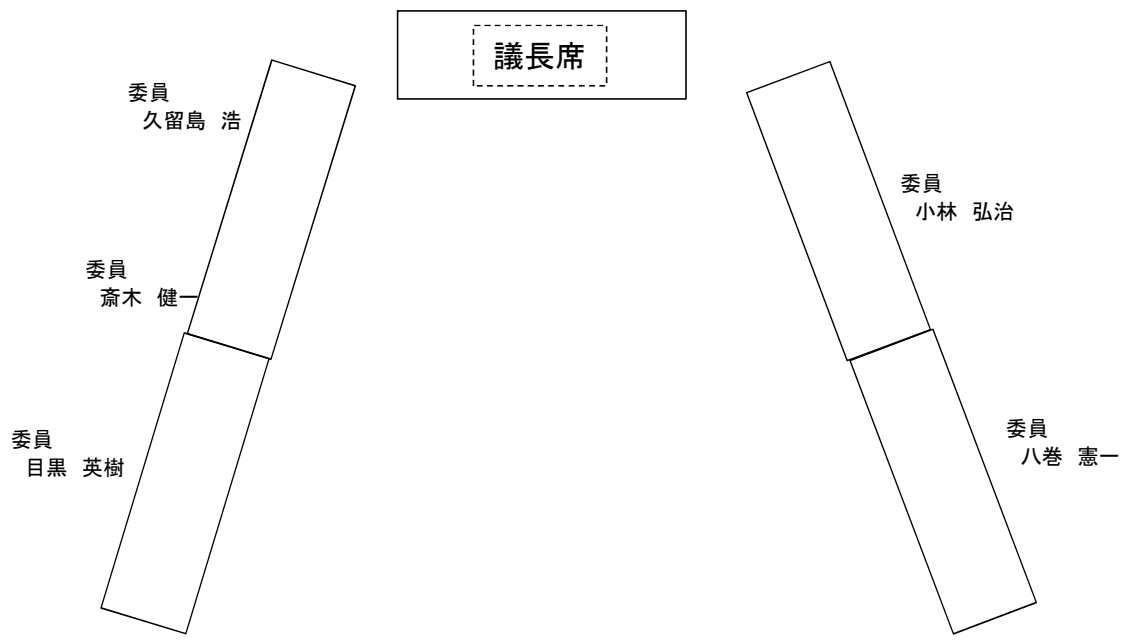
8 広報

講座や企画展等をホームページ，広報やちよ，まなびネットやちよ等で情報発信する。

9 博物館協議会

期日：1月下旬予定 会場：八千代市立郷土博物館 学習室

席 次 表



文化・スポーツ 課長 大野 光弘	教育次長 伊藤 栄治	教育長 嶺岸 秀一
		館長 中村 元重
		主査補 司会 勝見 俊介
	主査補 安藤 茂和	資料調査研究員 野中 政博
		文化財主事 吉田 赳
		主任主事 常松 成人

	傍 聴 席	
①	②	③
	④	⑤

出入口